

教務だより

2013年5月号
茗溪塾

茗溪塾教務部 03-3659-8638

「忙しい！」からこそ「今でしょ！」

茗溪塾塾長 宇野雅春

5月の時期を迎えると、ちょっと忙しさにうんざりする生徒が増えてきます。新学期は新しい学年の始まりで緊張感があり、目的意識も強くあるのですが、その気持ちも少しずつ薄れてきます。また、気温が高くなり、運動部で部活をしている生徒達は大会などもあって「バテ気味」になります。そんなとき出てくる話は、決まって「こんな勉強して何になるのか？」です。子供の批判の対象は「勉強」で、これが大人の場合は「仕事」になります。忙しすぎる勉強や忙しすぎる仕事は人類の敵になります。「世界で一番忙しい人間」という風に自分を感じ始めます。「もう少し余裕を持たなければ、だめになってしまう！」という具合にです。でも本当にそうなのでしょうか？

実は、塾の高校生の中に、部活動で厳しいスケジュールをこなしているにもかかわらず、勉強と両立させている生徒がたくさんいることに最近気づかされました。早朝の練習から、授業をした後の放課後の猛練習、そこから学校の課題をこなし、塾に来て講義を受け、さらに塾の課題もこなす、という「スーパー高校生」がたくさんいるのです。

「忙しい！」と感じている人のほとんどが「先送りタイプ」という人達です。常に緊急事態に追われています。締め切りに追われるということです。明日がテスト、次の日まで提出しなければならぬ宿題、塾にも行かなくてはならないのに、学校での行事準備がまだ終わっていない。友達に誘われている休日の予定は変更できないし…どうしたらいいか全く分からない…。何でこんなに忙しいのか？成績も上がらないし…。こんな風にあえいでいる割にはTVはしっかり見ていたり、友達と何時間もだべっていたり、部活が終わったあとは、買い食いに気晴らし、塾は休む、家では居眠りをしてしまっ、気がついたら明け方、学校の宿題もやらずじまい…。「先送りタイプ」の人は「重要」で「緊急」な事態におわれ、「重要」でない「緊急」な事にも追いまくられます。追いまくられてやっているのがトラブルが続出、トラブルはさらなる緊急事態を作ります。そしてまた追いまくられるという悪循環から抜け出せなくなります。(自分もそうだと思います。)

先述した忙しいけれど、勉強と部活を両立している高校生はどこがちがうのか？

ここで「優先順位」付けという「習慣」が出てきます。着目する点は、「緊急」ではないが「重要」な事柄です。たとえば、「2年後の入試に向けての準備」や「一年の計画を立てる」というようなことです。スケジュールの過密や体の疲労を乗り越えて文武両道を実現している生徒達のほとんどは、この長期計画に基づいた「時間管理」をしっかりと行っているということなのです。そしてそれを可能にしているのが「今でしょ！」です。

先送りしないで、今取り組むということです。今計画を立ててみる…そして一日一日最低限やるべき事をやり終える…。この実行が出来ると緊急事態は大幅に減ります。仕事も同じです。トラブルが多く、その解決に追われながら、そういうことに充実感を感じている人はたくさんいます。「緊急中毒」という事なのですが、周りは振り回されます。

「今でしょ！」の実践の最も大きいポイントが実は「塾」にあることに最近気づきました。塾生の中で部活と学業を両立させているほとんどの生徒は、「毎日塾の自習室を活用する」ことを実践しています。とにかく時間が空いたら、自習室に来て課題をどんどんこなしていくということです。カラオケに行けなくても、遊びがなくても、自分の課題が順調にこなせていくことが、ストレスをなくします。「気晴らししなきゃ」と遊んでも、トラブルや課題を引きずりながらの遊びでは逆にストレスは大きいということかもしれません。「優先順位」の習慣の鍵は今すぐ着手…「今でしょ！」だと思います。